

# 令和2年 国勢調査の概要

【就業状態等基本集計結果】



栃 木 市



## 目 次

1	就業状態等基本集計結果の要約	1
2	結果の解説	
I	栃木市の年齢別人口割合の推移	2
II	労働力人口と労働力率	4
III	男女別労働力率労働力率	6
IV	従業上の地位	8
V	産業別就業者の割合	10
VI	産業別就業者の平均年齢	12

## 1 就業状態等基本集計結果の要約

### I 栃木市の年齢別人口割合の推移

栃木市の年齢別人口割合は、0～14歳の幼年人口及び15～64歳の生産年齢人口が年々減少し、65歳以上の老年人口が増加している。

### II 労働力人口と労働力率

15歳以上人口(137,045人)の労働力率は平成27年と比べ、1.2ポイント増加している。

平成2年からの男女別労働力率は、男性は減少傾向にあるのに対し、女性は増加傾向にある。

### III 男女別労働力率労働力率

男性の労働力率は25歳から59歳までの年齢階級で90%以上と高くなっている。

女性は25歳以上のすべての年齢階級において労働力率が上昇した。

### IV 従業上の地位

15歳以上就業者では、男女別共に雇用者(役員含む)の割合が最も高い。

雇用者の内訳では、男性は正規の職員・従業員割合が、女性はパート・アルバイト・その他の割合が最も高い。

### V 産業別就業者の割合

産業(大部分)別に就業者の割合を見ると「製造業」が最も多く、次に「卸売業・小売業」の割合が高い。

平成27年に比べると「医療・福祉」と「運送・郵便業」の割合は、増加傾向にある

### VI 産業別就業者の平均年齢

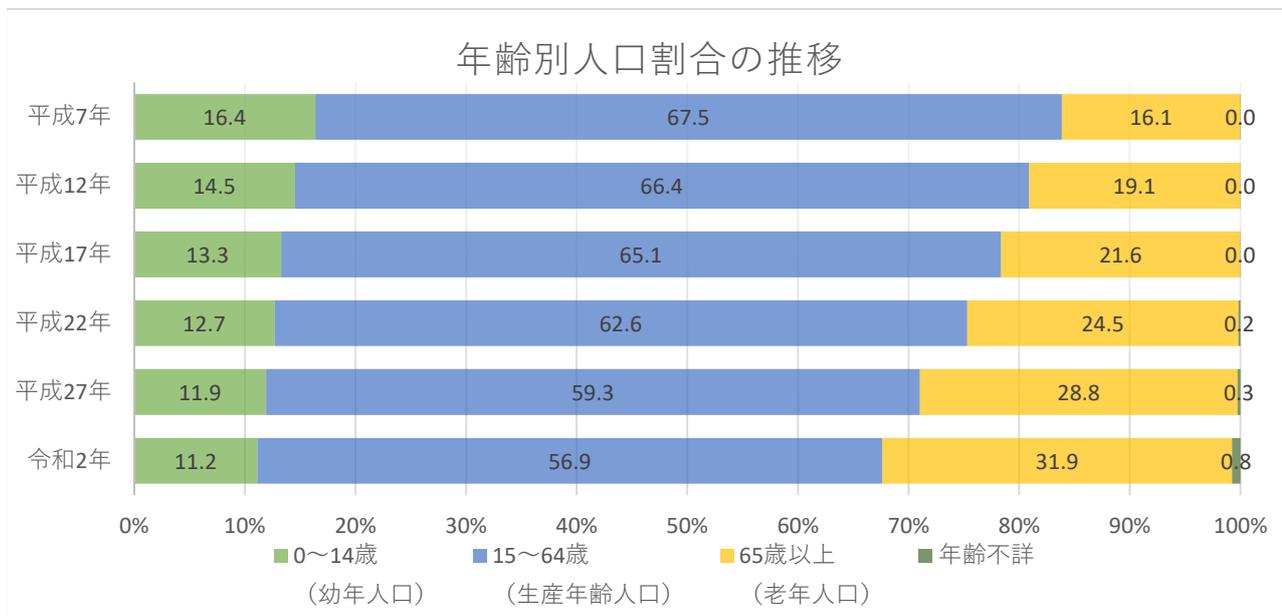
15歳以上就業者「の平均年齢を産業大分類別にみると、「農業・林業」が最も高く、「情報通信業」が最も低い。その差は19.3歳である。

## 2 結果の解説

### I 栃木市の年齢別人口割合の推移

栃木市の人口は、0～14歳(幼年人口)は、市全体の11.2%、15～64歳(生産年齢人口)は、56.9%、65歳以上(老年人口)は、31.9%である。

0～14歳人口と15～64歳人口は、年々減少し、65歳以上が増加している。



### 年齢(5歳階級)、男女別人口

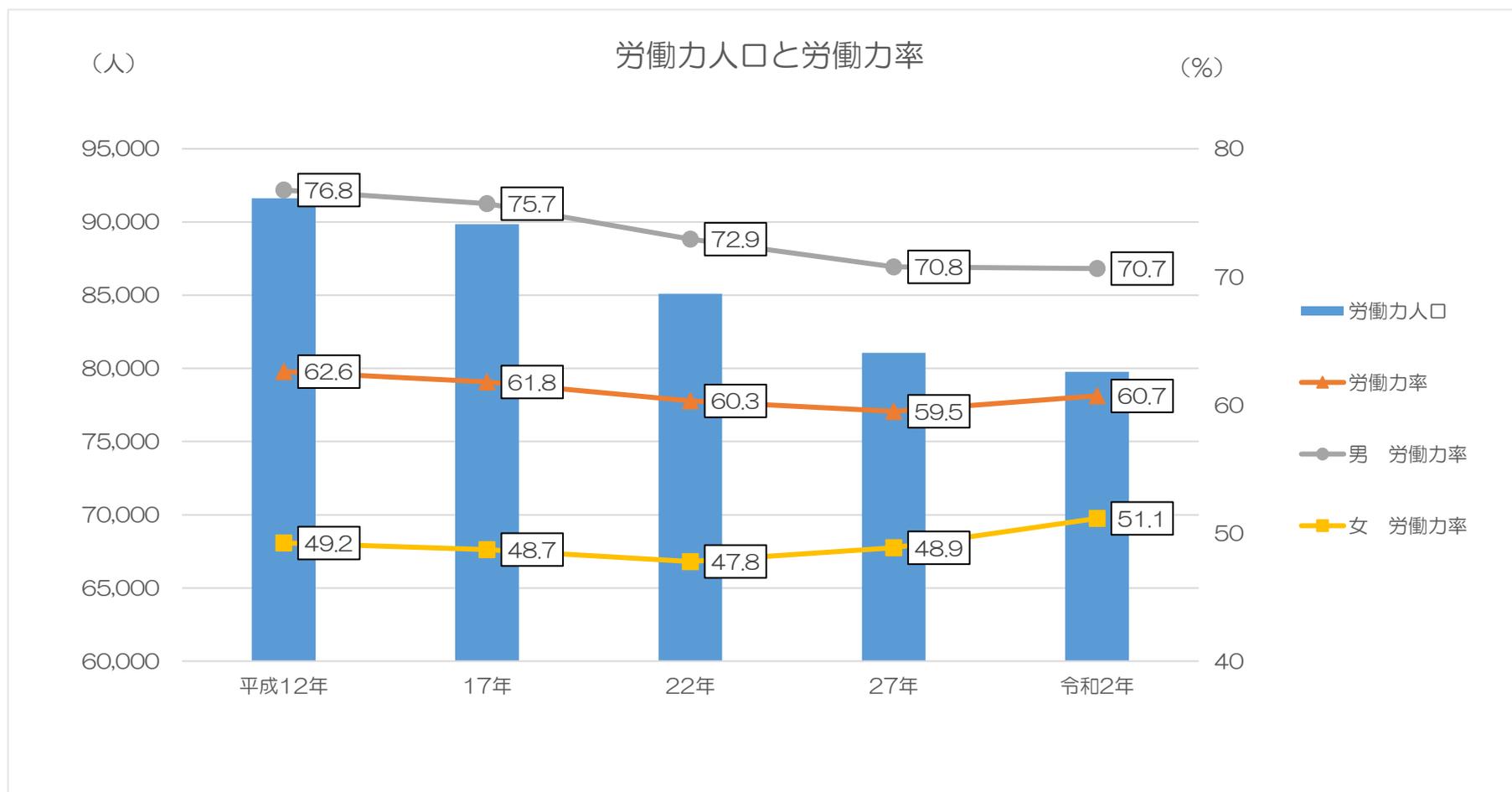
	令和2年				平成27年			
	総数	構成比(%)	男	女	総数	構成比(%)	男	女
<b>総数</b>	<b>155,549</b>	<b>100.0</b>	<b>77,408</b>	<b>78,141</b>	<b>159,211</b>	<b>100.0</b>	<b>78,209</b>	<b>81,002</b>
0～4歳	4,930	3.2	2,620	2,310	5,416	3.4	2,756	2,660
5～9歳	5,856	3.8	2,983	2,873	6,403	4.0	3,318	3,085
10～14歳	6,536	4.2	3,385	3,151	7,144	4.5	3,647	3,497
15～19歳	7,072	4.5	3,637	3,435	7,214	4.5	3,621	3,593
20～24歳	6,384	4.1	3,339	3,045	6,461	4.1	3,261	3,200
25～29歳	6,730	4.3	3,711	3,019	7,439	4.7	3,839	3,600
30～34歳	7,292	4.7	3,804	3,488	8,312	5.2	4,320	3,992
35～39歳	8,656	5.6	4,505	4,151	9,939	6.2	5,169	4,770
40～44歳	10,281	6.6	5,389	4,892	11,702	7.3	6,170	5,532
45～49歳	11,698	7.5	6,229	5,469	10,053	6.3	5,066	4,987
50～54歳	10,016	6.4	5,083	4,933	9,478	6.0	4,816	4,662
55～59歳	9,284	6.0	4,708	4,576	10,640	6.7	5,286	5,354
60～64歳	10,453	6.7	5,183	5,270	12,900	8.1	6,421	6,479
65～69歳	12,463	8.0	6,128	6,335	13,715	8.6	6,841	6,874
70～74歳	12,917	8.3	6,294	6,623	10,230	6.4	4,987	5,243
75～79歳	9,213	5.9	4,324	4,889	8,171	5.1	3,731	4,440

80～84歳	6,789	4.4	2,912	3,877	6,472	4.1	2,563	3,909
85～89歳	4,524	2.9	1,613	2,911	4,604	2.9	1,520	3,084
90～94歳	2,478	1.6	641	1,837	2,040	1.3	516	1,524
95～99歳	720	0.5	137	583	395	0.2	77	318
100歳～	75	0.0	10	65	79	0.0	9	70
年齢不詳	1,182	0.8	773	409	404	0.3	275	129
(年齢不詳を除く)								
0～14歳 (幼年人口)	17,322	11.2	8,988	8,334	18,963	11.9	9,721	9,242
15～64歳 (生産年齢人口)	87,866	56.9	45,588	42,278	94,138	59.3	47,969	46,169
65歳以上 (老年人口)	49,179	31.9	22,059	27,120	45,706	28.8	20,244	25,462

※人口：国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいう。

## Ⅱ 労働力人口と労働力率

15歳以上人口（137,045人）の労働力率は60.7%となっている。平成27年と比べ、1.2ポイント増加している。平成2年からの男女別労働力率は、男性は減少傾向にあるのに対し、女性は増加傾向にある。



※ 労働力率は、15歳以上人口（労働力状態「不詳」を除く）に占める労働力人口の割合をいう。

労働力状態、男女別15歳以上人口の推移

単位：人、%

区分	実数					労働力率 1)		
	総数	労働力人口	うち就業者	非労働力人口	不詳	割合 2)	前回との差 (ポイント)	
総数	令和2年	137,045	79,759	76,181	51,626	5,660	60.7	1.2
	平成27年	139,844	81,069	77,548	55,173	3,602	59.5	△ 0.8
	22年	142,907	85,091	79,132	55,984	1,832	60.3	△ 1.5
	17年	146,277	89,858	84,585	55,554	865	61.8	△ 0.8
	12年	146,728	91,613	87,744	54,727	388	62.6	△ 1.1
男	令和2年	67,647	45,503	43,067	18,902	3,242	70.7	△ 0.1
	平成27年	68,213	46,845	44,422	19,338	2,030	70.8	△ 2.2
	22年	58,615	42,086	46,009	15,608	921	72.9	△ 2.8
	17年	71,068	53,350	49,687	17,112	606	75.7	△ 1.1
	12年	71,315	54,555	51,977	16,498	262	76.8	△ 3.1
女	令和2年	69,398	34,256	33,114	32,724	2,418	51.1	2.3
	平成27年	71,631	34,224	33,126	35,835	1,572	48.9	1.1
	22年	62,520	29,493	33,123	32,234	793	47.8	△ 0.9
	17年	75,209	36,508	34,898	38,442	259	48.7	△ 0.5
	12年	75,413	37,058	35,767	38,229	126	49.2	0.7
(参考:令和2年)								
栃木県	1,669,992	965,788	926,595	577,011	127,193	62.6	-	
男	827,484	546,530	521,386	212,552	68,402	72.0	-	
女	842,508	419,258	405,209	364,459	58,791	53.5	-	
全国	108,258,569	59,949,767	57,643,225	36,603,968	11,704,834	62.1	-	
男	52,098,467	32,925,925	31,501,307	13,069,689	6,102,853	71.6	-	
女	56,160,102	27,023,842	26,141,918	23,534,279	5,601,981	53.5	-	

1) 労働力率は、15歳以上人口（労働力状態「不詳」を除く）に占める労働力人口の割合をいう。

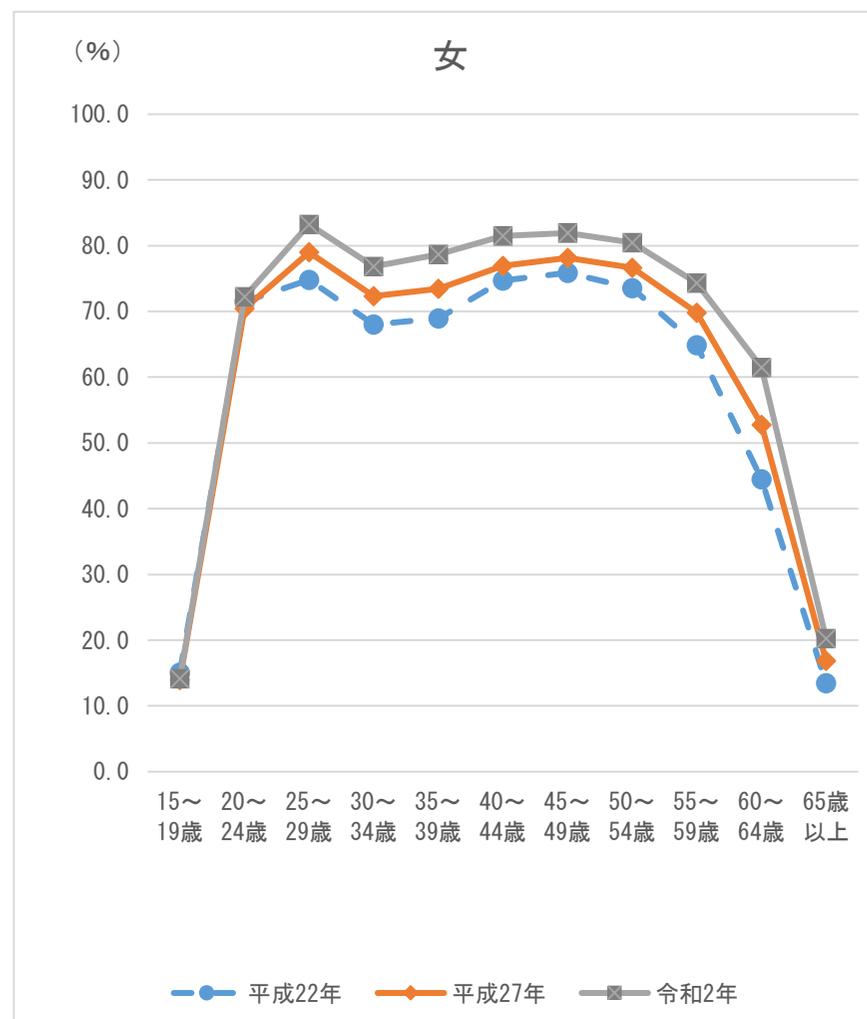
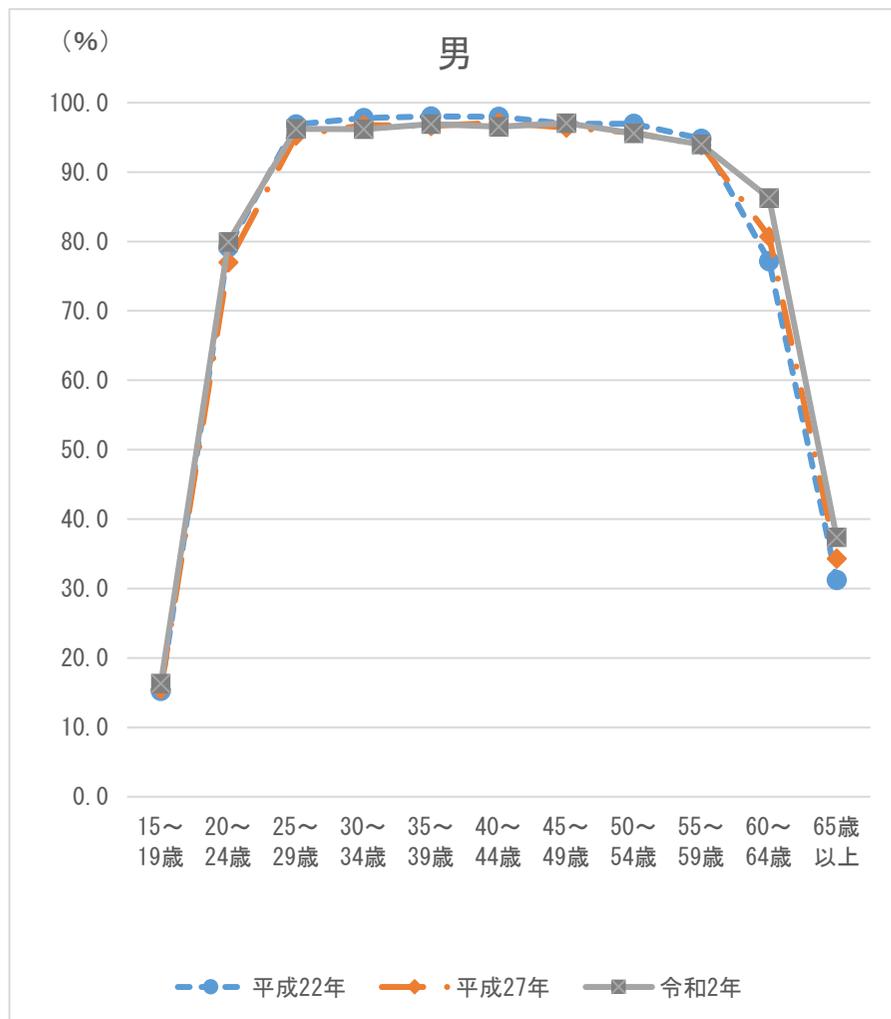
2) 労働力状態「不詳」を除いて算出。

### Ⅲ 男女別労働力率労働力率

男性の労働力率は25歳から59歳までの年齢階級で90%以上と高くなっている。

女性は25歳以上のすべての年齢階級において労働力率が上昇した。25～29歳と45～49歳を頂点とし、30～34歳を谷とするM字曲線となっている。

女性の労働力率は、10年前と比較して、M字曲線がなだらかになっている。



年齢（5歳階級）、男女別労働力率の推移

単位：％

男女、年次		総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上
男	令和2年	70.7	16.3	79.9	96.2	96.2	96.9	96.6	97.0	95.6	94.0	86.3	37.4
	平成27年	70.8	15.5	77.0	95.3	96.8	96.7	97.1	96.4	95.7	93.9	80.7	34.3
	平成22年	72.9	15.3	79.2	96.9	97.8	98.0	98.0	97.0	97.0	94.8	77.2	31.2
女	令和2年	51.1	14.1	72.2	83.2	76.8	78.7	81.5	81.9	80.5	74.3	61.5	20.3
	平成27年	48.9	14.0	70.5	79.0	72.3	73.5	77.0	78.1	76.7	69.8	52.7	16.9
	平成22年	47.8	15.1	71.5	74.8	68.0	68.9	74.7	75.9	73.6	64.9	44.5	13.4
総数	令和2年	60.7	15.3	76.2	90.3	86.8	88.1	89.3	89.9	88.1	84.2	73.7	27.9
	平成27年	59.5	14.7	73.7	87.4	85.0	85.5	87.6	87.3	86.3	81.7	66.6	24.6
	平成22年	59.9	15.2	75.3	86.0	83.2	84.1	86.4	86.5	85.2	79.8	60.9	21.1

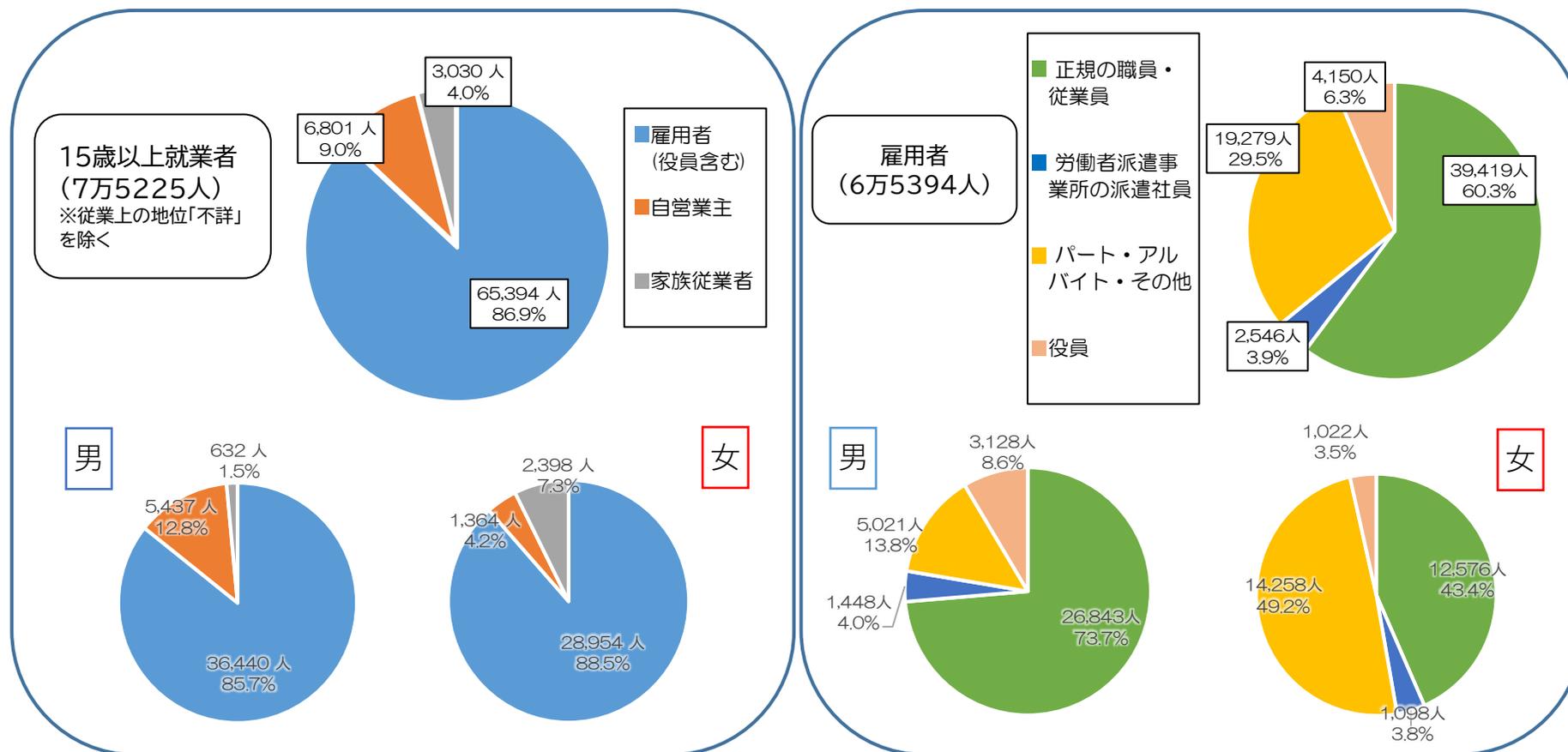
(参考)

令和2年 栃木県	男	72.0	15.9	77.4	95.3	96.3	96.6	96.5	96.4	95.5	94.4	85.6	38.2
	女	53.5	14.4	72.4	84.9	78.2	78.1	81.3	82.4	80.5	75.1	62.4	21.6
	総数	62.6	15.2	75.0	90.5	87.7	87.7	89.1	89.7	88.1	84.8	73.9	29.1
令和2年 全国	男	71.6	16.7	74.0	95.4	96.8	96.9	96.8	96.3	95.6	94.3	86.5	37.5
	女	53.5	16.8	74.2	86.6	79.1	78.1	80.8	82.0	80.2	75.3	62.2	19.9
	総数	62.1	16.8	74.1	91.0	88.0	87.5	88.8	89.1	87.8	84.6	74.0	27.5

注) 労働力状態「不詳」を除いて算出し、四捨五入した値である。

#### IV 従業上の地位

15歳以上就業者では、雇用者（役員含む）の割合は86.9%であり、最も高い。  
 雇用者の内訳では、男性で最も多いのは正規の職員・従業員で、73.7%である。  
 女性で最も多いのは、パート・アルバイト・その他で49.2%



従業上の地位（男女15歳以上就業者）

単位：人、%

区分	総数	雇用者 (役員含む)	雇用者				役員	自営業主	雇人のある 業主	雇人のない 業主	家庭内職者	家族従業者	従業上の地位 「不詳」
			・正規の職 員 ・従業員	労働者派遣 事業所の 派遣社員	・パート ・アルバイト ・その他								
総数	76,181	65,394	61,244	39,419	2,546	19,279	4,150	6,801	1,494	5,157	150	3,030	956
割合	100.0	86.9	81.4	52.4	3.4	25.6	5.5	9.0	2.0	6.9	0.2	4.0	-
男	43,067	36,440	33,312	26,843	1,448	5,021	3,128	5,437	1,270	4,149	18	632	558
割合	100.0	85.7	78.4	63.1	3.4	11.8	7.4	12.8	3.0	9.8	0.0	1.5	-
女	33,114	28,954	27,932	12,576	1,098	14,258	1,022	1,364	224	1,008	132	2,398	398
割合	100.0	88.5	85.4	38.4	3.4	43.6	3.1	4.2	0.7	3.1	0.4	7.3	-

(参考：令和2年栃木県)

総数	926,595	794,679	746,194	491,813	27,999	226,382	48,485	80,083	17,268	61,506	1,309	34,646	17,187
割合	100.0	87.4	82.1	54.1	3.1	24.9	5.3	8.8	1.9	6.8	0.1	3.8	-
男	521,386	441,792	405,908	334,847	13,944	57,117	35,884	61,972	14,600	47,186	186	7,482	10,140
割合	100.0	86.4	79.4	65.5	2.7	11.2	7.0	12.1	2.9	9.2	0.0	1.5	-
女	405,209	352,887	340,286	156,966	14,055	169,265	12,601	18,111	2,668	14,320	1,123	27,164	7,047
割合	100.0	88.6	85.5	39.4	3.5	42.5	3.2	4.5	0.7	3.6	0.3	6.8	-

注)割合は、「不詳」を除いて算出している。

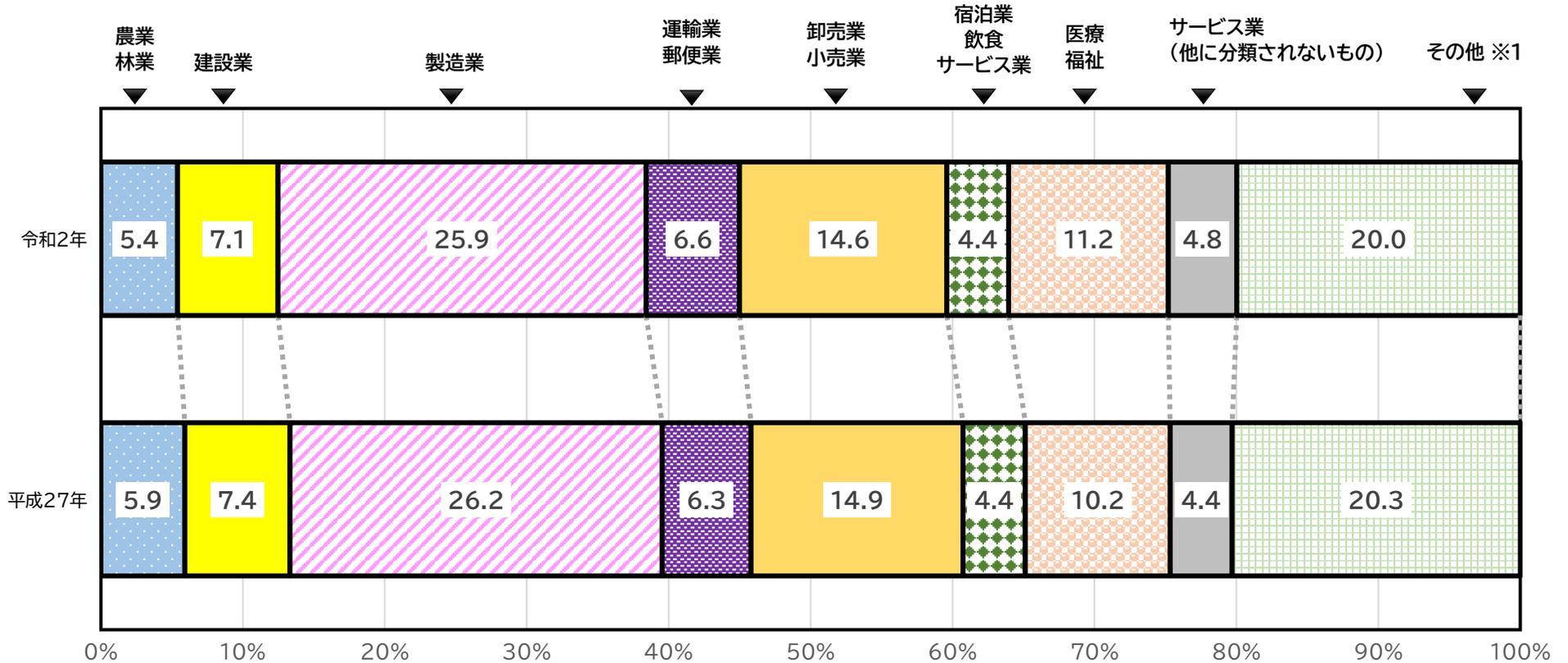
表4-2 従業上の地位（男女別15歳以上、雇用者数） 単位：人、%

区分	雇用者 (役員含む)	雇用者				役員
		・正規の職 員 ・従業員	労働者派遣 事業所の 派遣社員	・パート ・アルバイ ト ・その他		
総数	65,394	61,244	39,419	2,546	19,279	4,150
割合	100.0	93.7	60.3	3.9	29.5	6.3
男	36,440	33,312	26,843	1,448	5,021	3,128
割合	100.0	91.4	73.7	4.0	13.8	8.6
女	28,954	27,932	12,576	1,098	14,258	1,022
割合	100.0	96.5	43.4	3.8	49.2	3.5

## V 産業別就業者の割合

産業（大部分）別に就業者の割合を見ると「製造業」が25.9%と最も高く、次に「卸売業・小売業」が14.6%、「医療・福祉」が11.2%と割合が高い。

平成27年に比べると「医療・福祉」と「運送・郵便業」の割合は、増加傾向にある。



※1 「その他」に含まれるものは、「漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「複合サービス事業」「分類不能の産業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「公務(他に分類されるものを除く)」である。

## 産業(大分類)、男女別就業者数

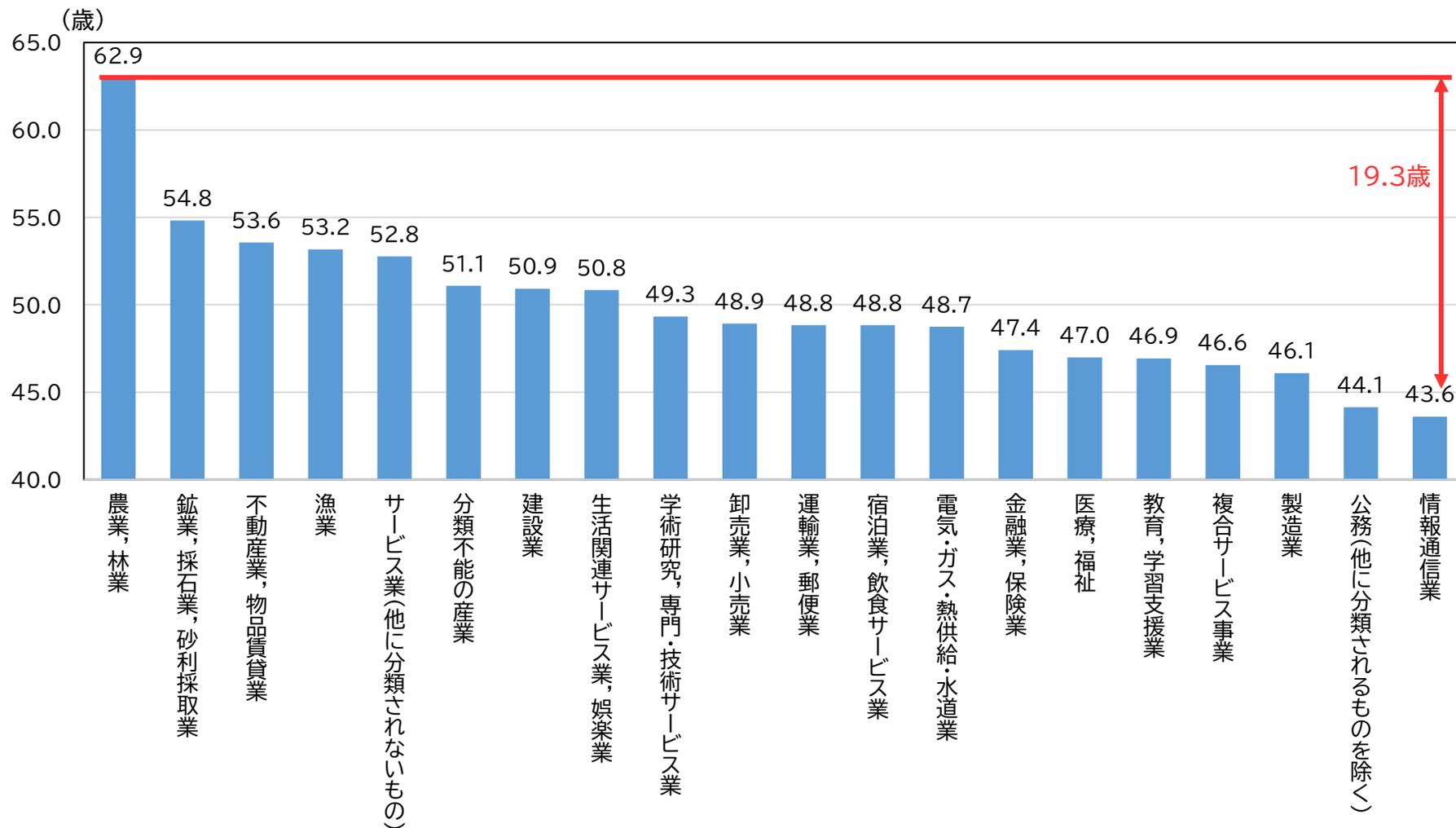
単位:人、%

産業 (大分類)	実数				割合				前回との 割合の差	
	総数	令和2年		平成27年	総数	令和2年		平成27年		
		男	女			男	女			
総数	76,181	43,067	33,114	77,548	100.0	100.0	100.0	100.0		
第1次産業	A 農業, 林業	4,120	2,445	1,675	4,583	5.4	5.7	5.1	5.9	△ 0.5
	うち農業	4,088	2,415	1,673	4,556	5.4	5.6	5.1	5.9	△ 0.5
	B 漁業	6	4	2	4	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.0
第2次産業	C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	124	111	13	132	0.2	0.3	0.0	0.2	△ 0.0
	D 建設業	5,383	4,380	1,003	5,751	7.1	10.2	3.0	7.4	△ 0.4
	E 製造業	19,757	13,867	5,890	20,341	25.9	32.2	17.8	26.2	△ 0.3
第3次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	229	185	44	240	0.3	0.4	0.1	0.3	△ 0.0
	G 情報通信業	672	490	182	671	0.9	1.1	0.5	0.9	0.0
	H 運輸業, 郵便業	5,015	3,899	1,116	4,864	6.6	9.1	3.4	6.3	0.3
	I 卸売業, 小売業	11,125	5,079	6,046	11,588	14.6	11.8	18.3	14.9	△ 0.3
	J 金融業, 保険業	1,245	516	729	1,365	1.6	1.2	2.2	1.8	△ 0.1
	K 不動産業, 物品賃貸業	750	440	310	726	1.0	1.0	0.9	0.9	0.0
	L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,548	1,019	529	1,527	2.0	2.4	1.6	2.0	0.1
	M 宿泊業, 飲食サービス業	3,318	1,070	2,248	3,407	4.4	2.5	6.8	4.4	△ 0.0
	N 生活関連サービス業, 娯楽業	3,056	1,251	1,805	3,139	4.0	2.9	5.5	4.1	△ 0.0
	O 教育, 学習支援業	3,288	1,300	1,988	3,045	4.3	3.0	6.0	3.9	0.4
	P 医療, 福祉	8,569	1,932	6,637	7,868	11.2	4.5	20.0	10.2	1.1
	Q 複合サービス事業	621	347	274	717	0.8	0.8	0.8	0.9	△ 0.1
	R サービス業(他に分類されないもの)	3,674	2,484	1,190	3,393	4.8	5.8	3.6	4.4	0.4
	S 公務(他に分類されるものを除く)	2,346	1,462	884	2,271	3.1	3.4	2.7	2.9	0.1
T 分類不能の産業	1,335	786	549	1,916	1.8	1.8	1.7	2.5	△ 0.7	
(再掲)										
第1次産業	4,126	2,449	1,677	4,587	5.5	5.8	5.1	5.9	△ 0.4	
第2次産業	25,264	18,358	6,906	26,224	33.8	43.4	21.2	33.8	△ 0.1	
第3次産業	45,456	21,474	23,982	44,821	60.7	50.8	73.6	57.8	2.9	

※再掲部分の割合は、産業大分類「分類不能の産業」を除いて算出。

## VI 産業別就業者の平均年齢

15歳以上就業者「の平均年齢を産業大分類別にみると、「農業・林業」が最も高く、「情報通信業」が最も低い。その差は19.3歳である。



## 産業(大分類)、年齢(5歳階級)別就業者数及び平均年齢

単位:人、歳

産業 (大分類)	総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	平均年齢	
総数	76,181	949	4,126	5,237	5,589	6,814	8,320	9,600	8,067	7,263	7,201	13,015	48.9	
第1次産業	A 農業, 林業	4,120	13	62	90	119	182	207	206	162	213	448	62.9	
	うち農業	4,088	12	58	85	115	179	204	204	160	211	447	63.1	
	B 漁業	6	-	-	-	-	1	-	2	2	-	1	53.2	
第2次産業	C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	124	1	-	4	4	4	13	20	17	17	14	30	54.8
	D 建設業	5,383	38	188	277	302	463	668	762	555	455	516	1,159	50.9
	E 製造業	19,757	310	1,308	1,724	1,744	1,885	2,270	2,729	2,139	1,857	1,678	2,113	46.1
第3次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	229	-	3	16	22	18	32	35	29	27	23	24	48.7
	G 情報通信業	672	-	57	66	58	82	102	87	75	76	50	19	43.6
	H 運輸業, 郵便業	5,015	46	184	292	272	440	568	802	741	630	487	553	48.8
	I 卸売業, 小売業	11,125	240	612	666	767	953	1,214	1,392	1,218	1,096	1,126	1,841	48.9
	J 金融業, 保険業	1,245	7	59	101	106	110	116	178	179	162	121	106	47.4
	K 不動産業, 物品賃貸業	750	3	30	38	48	58	68	87	56	70	82	210	53.6
	L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,548	4	67	80	136	163	183	186	144	158	178	249	49.3
	M 宿泊業, 飲食サービス業	3,318	160	252	131	186	267	347	390	345	251	293	696	48.8
	N 生活関連サービス業, 娯楽業	3,056	28	182	185	208	268	301	325	290	236	264	769	50.8
	O 教育, 学習支援業	3,288	20	218	267	269	300	347	402	403	436	328	298	46.9
	P 医療, 福祉	8,569	24	497	725	742	961	1,028	1,020	877	814	831	1,050	47.0
	Q 複合サービス事業	621	6	33	36	54	62	80	77	72	97	88	16	46.6
	R サービス業(他に分類されないもの)	3,674	18	120	185	200	280	389	409	353	330	412	978	52.8
S 公務(他に分類されるものを除く)	2,346	8	145	253	270	243	270	341	296	253	163	104	44.1	
T 分類不能の産業	1,335	23	109	101	82	74	117	150	114	85	99	381	51.1	
(再掲)														
第1次産業	4,126	13	62	90	119	183	207	208	164	213	448	2,419	62.9	
第2次産業	25,264	349	1,496	2,005	2,050	2,352	2,951	3,511	2,711	2,329	2,208	3,302	47.2	
第3次産業	45,456	564	2,459	3,041	3,338	4,205	5,045	5,731	5,078	4,636	4,446	6,913	48.5	